

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号721

発生場所

手術室

精神・意識障害の有無

無

リスク

発生場所（その他）

B. 物の性能のリスク

関連したもの

薬剤の形状外装性質

発生内容の分類

薬剤

発生内容

ポリアンブ製剤の針の貫通による針刺し事故

概要

リドカイン製剤はもともと細口のポリアンブ製剤を使用していた。ISOのsmallボア対応する世の中の流れで、最近になってリドカイン製剤がワイドオープン型のポリアンブに変更。細口だったときには、ルアー型シリンジをそこに差し、薬液を吸い上げていたが、ワイドオープンになり、ルアーシリンジも、ロックシリンジも直接ポリアンブに接続できなくなり、18Gで吸い上げていた。心臓カテーテル中に、看護師がポリアンブを手に持ち、医師が、18Gの針がついたシリンジでリドカインを吸い上げようとしたところ、ポリアンブから針が貫通し、看護師の指に勢いよく針が刺さって出血してしまった。針が太かったため止血に時間を要した。

要因

- ①ポリアンブ製剤が柔らかい
- ②医師も、まさか貫通すると思っていないので今まで通り吸い上げようとした
- ③smallボア対応で神経麻酔系は統一されたが毎回吸い上げる行為が必要となった

対策

- ①当面の間、吸い上げにはプラスチック針を使用
- ②ジェネリックではない、先発品のキシロカインに変更。細長いタイプのポリアンブへ。→（しかし、この薬品もいずれはワイドオープン型のポリアンブになる）
- ③看護師が持つのではなく、ポリアンブを置いてから医師が吸い上げる→（ちょっとしたことで貫通しやすく、貫通までは至らないが小さい穴は開いていることが判明で感染対策上も問題あり）

参照

